

2028 芸術文化観光専門職大学
大学案内冊子制作及び印刷製本等業務委託に係る企画提案書依頼事項

1 業務仕様及び前提条件

(1) 募集の背景と目的

ア:ターゲット

受験者とその保護者のほか、高等学校や予備校などの受験関係者とする。本学との連携を検討する自治体や企業、または団体は主なターゲットではない。

イ:目的・重視事項

高校生および保護者のニーズ・不安に応え、「納得できる進路決定」につなげる誌面構成とすること。

以下参考（オープンキャンパスにおける高校生、保護者へのアンケート結果から抜粋）

【高校生の視点】

自身の関心や探求テーマにあった学びを得られるか見極めようとしている。単なる概要説明にとどまらず、「具体的にどのような学びや面白さがあるのか」という実習や授業の魅力を知りたいという要望・意見がある。

【保護者の視点】

「地方で一人暮らしさせること（生活、周辺的环境面）」や、「卒業後にしっかりとした就職・進学先があるか」について関心が高い。

ウ:伝えるべき魅力

在学生の活動の多彩さ・活発さ、本学の学びの質、卒業後のキャリアに関する情報を充実させること。

エ:主な用途

オープンキャンパスや進学ガイダンス、高等学校等への配布、および受験者・保護者からの資料請求とする。

(2) 冊子の基本仕様及び構成方針

本学の「学生のいきいきとした姿」や「多彩な実習」などの魅力にフォーカスした新たな誌面企画・ビジュアル提案をベースとしつつ、既存ページでは、積み重ねてきた説明性の高さや分かりやすさを継承・洗練させる 「新規企画・一部改訂混在型」の制作業務とする。

ア:新規制作ページ（掲載テーマとしては必須）

受託者において企画立案・取材・撮影・デザイン制作を行うこと。なお、学生を積極的に登用した企画を盛り込むこととし、ページ配分は自由とする。

- (ア) 表紙・裏表紙のメインビジュアル
- (イ) 本学の魅力を高める自由企画（実習の多彩さ、学生生活ほか）
- (ウ) 学長インタビュー
- (エ) 芸術文化専攻・観光専攻の両専攻別の紹介
- (オ) 卒業生紹介、就職支援（キャリアサポート）体制、内定情報（内定者や実績紹介）
- (カ) 教員紹介

イ:現行アップデートページ（2027 版のアップデート、改良が基本。掲載必須）

説明資料としての継続性の観点から、現行パンフレット（2027 版）の一部（下記ア～ク）について、刷新ではなく更新・アップデートを軸に伝わりやすさにつなげる。

なお、説明性を高めるための工夫として、イラストや写真などのビジュアル素材の使用、レイアウト変更などは自由とする。

- (ア) 芸術文化観光専門職大学の学び※**架橋の説明文と図**（2027 版 P11 を参照）
- (イ) カリキュラム
- (ウ) CAT の特徴
- (エ) 国際交流
- (オ) 地域連携・社会貢献
- (カ) 施設・設備
- (キ) 学生寮
- (ク) 入試情報

ウ:ページ数及びレイアウト

- (ア) **総ページ数は 32 ページ以上**（表紙・裏表紙含む）とする。
- (イ) 掲載順序（台割り案）・ページ順序は、「新規制作ページ」と「現行アップデートページ」の区別なく自由とし、ストーリー性や読みやすさを考慮した提案とする。

(3) 制作にかかる指示事項および体制

ア:デザイン表現について

品位を備えつつ、本学の熱量が伝わるデザインを求める。ただし過度に奇抜（またはポップ）にならず、洗練されたスマートさと受験生の目を惹く存在感・躍動感があるビ

ジュアルデザインとすること。デザインは単なる装飾ではなく、「なぜその表現・トーンを用いるのか」という企画側の意図・熱量が伝わることを重視する。

イ:写真、テキスト素材の活用

本学が所有する写真データ（施設・外観・内観・過去の実習・公式 Web の画像・動画撮影時のスチール等）および現行パンフレットのテキスト・図式データは提供可能とし、受託者の判断で自由に活用してよい。

ただし、撮影時期が古い素材も含まれるため、実際の誌面採用にあたっては大学側と協議の上選定すること。既存素材で不足する写真は、受託者の責任において新規撮影により充足させること。

ウ:取材対象の調整

取材対象者（学生、教員、卒業生等）の選定および対面取材・撮影のスケジュール調整は本学が行う。また、インタビューシートによる取材対象者についてもデータとりまとめは本学が行う

エ:取材・ライティング体制

受託者による取材・撮影および原稿執筆を行うこととし、詳細は以下のとおりとする。

・取材・撮影日数：

5～7 日程度（連続・分散いずれも可）を確保すること。（学内、学外含め）

・執筆体制：

「新規企画」にかかる原稿については、インタビュー・執筆の実績を有するライターが新規に執筆することを原則とする。ただし「現行アップデート」の誌面については、現行パンフレットや公式ホームページのテキストを応用すること。

・取材手法：

本学の魅力を高いクオリティで伝えるため、メイン企画等におけるライター・カメラマンによる対面取材・撮影を基本とする。

一方で、コスト・スケジュールの最適化、および誌面構成のバリエーションに応じてはインタビューシート（テキスト・写真データのやりとり。シートの様式は任意）を活用した誌面構成を併用する柔軟な提案も可能とする。

2 企画提案書への記載事項

次の各項目について、具体的な企画提案書を作成し提出すること。

(1) 基本コンセプト及びデザイン提案

ア:全体のコンセプト案

冊子全体の基本コンセプト及びデザイントーン（サンプル案）、およびそのデザイン表現を採用した意図・背景の説明。

イ:撮影コンセプト

写真撮影コンセプト（既存素材の活用方針、新規撮影方針）

(2) 誌面構成案(台割り・レイアウト案)

ア:新規企画案

表紙及び「新規制作ページ」の具体的な誌面企画及びデザイン案

イ:現行アップデートページの更新方針

「現行アップデートページ」における効率的な更新の考え方

ウ:台割り案、目次案

全体台割り案（ページの並び順及び提案総ページ数） および目次の配置・工夫案

(3) 実施体制及び制作スケジュール

ア:実施体制及び役割分担

制作担当者リスト（ディレクター・デザイナー・ライター・カメラマン等）および大学との連携フローを記載すること。

イ:制作スケジュール案

撮影時期、および納品（令和9年4月28日（水））までの工程を明記すること。

(4) 貴社の強み

ア:制作実績

過去の制作実績の事例や工夫など

イ:取材・ライティング及び編集力

本学の「学びの深さ」や「学生・教員のリアルな声」を引き出すための取材・インタビュー・ライティング体制の強み。

ウ:対応力・フットワーク

本学（豊岡市）への現地取材・撮影および打ち合わせ等における迅速な対応力、柔軟な進行管理・サポート体制などの強み。

(5)見積額およびその内訳

企画・デザイン・ライティング・撮影・移動旅費・印刷製本費等を含めた総括的な見積り（税込）を提示すること。

3 参考情報

(1) 本学のクレド(ミッション・ビジョン・バリュー)

※この情報は企画立案の参考とし、冊子への掲載は不要。

ミッション:

本学は芸術文化観光学の構築を通じて、生きる歓びのあふれる共同体をインターローカルに紡ぎ出す知と行動の拠点となる（インターローカルとは、国家間の関係を意味する従来の「インターナショナル」とは異なり、地域と地域を、国境を超えてダイレクトに結ぶ活動を意味します。）

ビジョン:

本学は芸術文化と観光の協働的实践を積み重ね、共同体の活力を創造し、社会実装につなげる先導的な大学モデルとなる

バリュー:

- ・さまざまな矛盾と向き合い、ゆっくり悩む時間を大切にしよう
- ・多様な選択と決定を受け止める寛容な感性を育もう
- ・知らない世界、知らない自分への冒険を楽しもう
- ・他者との違いから学び合い、責任を持って行動する知性を養おう

(2) 実習プログラム及び保有写真データに関する参考情報

※この情報は企画提案や撮影計画の組み立てに活用いただくための参考情報であり、誌面掲載対象や取材先を指定するものではない。

ア:実習プログラムの例(今後実施予定のもの)

本学の学びの核である実践的な教育(実習)について、直近の第4クォーター(1~2月)では主に以下のプログラムが予定されている。企画提案のアイデアや新規撮影計画の参考とすること。また、実習先は変更する可能性がある。

- ・観光交通業実習（但馬内の交通機関 等）
- ・宿泊業実習（観光地内の宿泊施設 等）
- ・地方創生実習（但馬内の自治体 等）

イ:本学が保有する実習写真データ(提供可能素材)

すでに高解像度データとして所有している主な実習写真は以下のとおり。契約後は、自由に活用してよい。

- ・但馬空港における「観光交通業実習」の様子
- ・但馬内の自治体における「デスティネーション実習」の様子
- ・地元事業者における「地域イノベーション実習」の様子

※不足する素材については「取材・撮影日数 5～7 日程度」の範囲で新規取材・撮影計画を盛り込むこと。